

児童デイ便り



節分🐱 ローソン鬼さん🐱と、
春休み「わくわくスポーツ観戦！」

日頃、職場体験やお買い物練習の活動で、ご縁が深まっているローソン小赤見店さんから、今回も嬉しい提案を頂き、節分の日にはリアルな赤鬼さんが遊びに来てくれました。

レフトの小さい子ども達の前では「優しい赤鬼さん」、ライトの大きな子ども達の前では「怖いリアルな赤鬼」と上手に使い分け、迫力ある赤鬼を前に子ども達は大喜びです。勿論、怖くてお部屋のすみっこに半べそで逃げ出す姿も見られました(笑)

そして今回お声が掛かったのは、4月に一宮総合体育館で開催される、バスケットボールのクラブチームの試合観戦無料ご招待！です。病気や障がいがあると、物理的にも精神的にもスポーツ観戦となるとなかなかハードルが高い部分もありますが、「まごころの子ども達には是非観て欲しい」とローソンのオーナーさんからの優しいお言葉に、スタッフの心が動かされご案内したところ、30名を超える申し込みを頂きました。スポーツをライブで観戦することの魅力を感じ取り、今まで味わった事のない素晴らしい経験をさせて頂けます。

スリル、わくわく、ドキドキ。やってみたい、感動、、等の感情や逆に驚きや恐怖を感じる子もいるかもしれませんね。新しい経験をして湧き上がった、新しい感情や新たな変化に気付けるよう、私達スタッフもアンテナをしっかりと張りながら支援していきますね。(清水)



相談日記

相談支援事業所まごころリンク 開所！

2024年3月1日に「相談支援事業所まごころリンク」を開所いたしました。対象者は65歳までの障害を持つ方やご家族様、関係される方や機関等です。

事業所には、管理者の他、実務経験を経たうえで受けられる研修を修了した「相談支援専門員」という資格を持つ相談員が障害福祉サービスのご利用のお手伝いをいたします。また、当法人では介護保険の居宅支援(ケアマネ)事業も行っていますので、高齢者福祉サービスへの移行もスムーズに行う体制を整えていく予定です。

一宮市の現状として、セルフプラン率の高さ(愛知県下ワーストクラス)が大変問題になっております。当法人のサービスをご利用されている方の中も、セルフプランにてサービスを利用されているという方も多く、プランを立てる作業や、関係機関との連絡・調整にご苦労されているという話をよく耳にします。そういった作業の一部を相談支援専門員が代行することが出来ます。

ご相談等はお電話の他、メールやラインなどでも受け付けております。ご興味のある方は一度ご連絡くださいね♪(中山)



相談支援事業所まごころリンク

管理者：武山葉子

相談支援専門員：中山裕太(精神保健福祉士)



ふじた亭の奥が事務所です

ケアマネジャーの目

介護保険制度改定について

介護報酬改定(介護保険制度改定)は、3年に一度のサイクルで行われ、常にその時々々の社会情勢や環境の変化に対応できるように見直しが行われています。

2024年度の介護保険制度改定では、ケアプラン(要支援、要介護の認定を受けた方が、適切な介護保険サービスを受けるための計画書)の有料化も見送られました。現在は、在宅サービスにおけるケアプランの作成は10割保険負担の為、利用者負担はありません。一方で、施設サービスではケアマネジメント費用を利用者が負担していることから、政府は公平性を保つために有料化を提言していました。しかし、導入することで利用控えが生じうる等利用者への影響や、セルフプランの増加によるケアプランの質の影響も指摘されています。又、(要介護1~2)の訪問介護や通所介護などの介護サービスを総合事業にして、地域や民間企業と連携する構想も見送りとなりました。サービスの質の低下や事業所の撤退などの懸念もあること、世論の反対が大きかったことが理由のひとつのようです。次期(2027年)の改定時には再び議論される可能性は高く、介護サービスの利用者は注視が必要と思われます。

~作品紹介~

Nさんのご趣味の紙粘土細工の作品です。ご自宅はまるでギャラリーのようにたくさんの作品が壁に飾ってあり、どれも素晴らしいものばかりです。



~耳より情報~

インターネットラジオ

「井戸端放送局」YouTube

いちのみや深掘りラジオ~

平々亭青馬の行き当たりバッチリ!

- ・毎月第2水曜 17:00~18:00
- ・毎月第2木曜 15:00~16:00

『井戸端放送局』では、一宮市の市民活動団体の活動内容やイベントの紹介もしています。

~知っておきたいヘルパーの知識

「在宅支援介護講座・介護術」

3/2、介護術では「食事・排泄・入浴」を学びました。その中の「食事介助」の基本キーワード・・・

- ◆食べやすい食形態の工夫
- ◆使いやすい道具の活用
- ◆食べなくなったら食欲が出る環境づくりを
- ◆食べ物は自分で食べているように、利き手側の方から運ぶ

実際にご家族を介護している受講者から、「一人で食べられるよう、手づかみの食事内容にしている」「味噌汁はないけど、『メイバランス』(高栄養補給)や牛乳をストローで飲ませている」というお話を聞きました。

「最後まで自分で食べる」という原点のお話に介護して再認識できました。

令和5年度「在宅支援介護講座」は全6回終了いたしました。

